

第7回集会 (SADI 出雲、1999)

SADI ニュース

1999年12月 SADI 組織委員会

第7回 ダニと疾病のインターフェイスに関するセミナーの議事録

Proceedings of 7th Seminar on Acari - Disease Interface 1998 in Izumo

第7回集会 (SADI 出雲大会) は、以下の通り開催された。

1. 開催要領

ホスト：板垣 朝夫 (島根県衛生公害研究所)

期 日：1999年6月18日 (金) ～20日 (日) の2泊3日

会 場：大社商工会館 (島根県簸川郡大社町杵築1344 Tel. 0853-53-2558)

宿 泊：周辺地域のホテルや旅館に自前で分宿

費 用：参加費1,000円, 懇親会費5,000円, 疫学ツアー1,000円, 宿泊

は各自精算 発 表：口演と討論および資料の展示

企 画：半日の疫学ツアーおよび標本同定会

2. プログラム

1日目 6月18日 (金)

15:00 開会

板垣朝夫：島根県のリケッチア症－ホスト挨拶にかえて－

15:20～ 一般演題

藤田博己：東北地方南部の気になるツツガムシ

馬庭芳朗：“オオヤ・ミナミダニ病”の発生から中国山地でのタテツツガムシ浸淫地の確認まで

矢野泰弘：西日本のタテツツガムシについて

板垣朝夫：島根県のツツガムシ病の発生状況

16:30～ コーヒーブレイク (自由討論)

2日目 6月19日 (土)

9:00～ 疫学ツアー (会場→日御碕灯台付近および中山地区→会場)

15:00～ 一般演題

高田伸弘：西アジアにライム病ボレリアを探る

矢野貴彦：広島県内で発生した *Haemaphysalis flava* による Lyme 病の一例

増沢俊幸：台湾由来ライム病ボレリアの性状解析

野田博明：マダニに共生する *Coxiella* 属微生物

古屋由美子：*Coxiella burnetii* 抗体検出について

藤曲正登：千葉県で発生したツツガムシ、マダニ刺咬症

板垣朝夫：島根県の紅斑熱リケッチア症発生状況

千屋誠造：高知県における紅斑熱リケッチア症発生状況とマダニ相

19:00～ 懇親会

3日目 6月20日（日）

9:00～ 一般演題

保科 健：島根県の野生動物の紅斑熱リケッチア抗体保有状況

板垣朝夫：島根県の住民の紅斑熱リケッチア抗体保有状況

馬庭泰久：当科で経験した紅斑熱リケッチア症の2例

佐藤秀一：日本紅斑熱の二症例—ツツガムシ病との比較—

野田伸一：鹿児島県でみられた日本紅斑熱の一例

岩崎博道：高サイトカイン血症を伴った重症日本紅斑熱の1例

吉家清貴：ヒト顆粒球性エーリヒアによる多核白血球アポトーシスの抑制

11:00～ コーヒーブレイク（自由討論）

11:30～ 全体総括（ホスト）

組織委員会からアナウンス

12:00 閉会（ホスト挨拶）



ホスト開会宣言 (6月18日)

秋分おめでたい不眠ムトで床山高竹：幸甚甚哉



ダニ標本同定会 (6月19日)



疫学ツアー(紅斑熱発生地でのマダニ採集, 6月19日)



疫学ツアー(マダニ濃厚生息地, 6月19日)